

基本的臨床技能実習

責任者・コーディネーター	OSCE 部門長		
担当講座・学科(分野)	実習担当講座・学科		
担当教員	実習担当講座・学科教員		
対象学年	4学年	期間	前期
区分	実習	時間数	47 時間

■ 学習方針(講義概要等)

診療参加型臨床実習に参加する学生に必要とされる、知識・態度・技能に関する学修と評価項目に沿って実習を行う。また、臨床実習を行うにあたって必要不可欠な医療安全、手術場のルール、電子カルテの使用方法等について実習を行う。

■ 教育成果(アウトカム)

Student Doctor として臨床実習に参加できる知識・態度・技能を身に付ける。また、グループ行動を通じて、医療プロフェッショナルとして必要なコミュニケーション能力を身に付ける。

(ディプロマ・ポリシー: 5.6)

■ 実習日程

実習前のガイダンスにおいて提示する。本科目は原則 1 コマ 60 分で行う。

■ 成績評価方法

共用試験 OSCE による。試験実施方法は別に定める。

■ 特記事項・その他

シラバスに記載されている学修内容(Web シラバス等)および到達目標の内容について、教科書・レジメを用いて事前・事後学修(予習・復習)を行うこと。各授業に対する事前・事後学修の時間はそれぞれ最低 30 分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。なお、適宜、講義・実習冒頭で事前学修内容の発表時間を設け、授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業で解説を行う。授業では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。講義資料や実技動画はWebClass で配信する。

当該科目に関連する実務経験の有無 有

大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。